

「小松・城北」里山をまもる会

小松・城北地区と里地里山条例

小松・城北地区は相模原市の北部、町田市に隣接する地域にあります。緑豊かな丘陵地とその間に流れる境川の2つの支流穴川・小松川に沿って谷戸が広がるなど貴重な里地里山の景観が残り、様々な生きものが生息しています。

平成20年に神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例がはじめて適用される地区

として選定され、平成24年には相模原市里地里山の保全等の促進に関する条例の指定地区となりました。



「小松・城北」里山をまもる会の活動

「小松・城北」里山をまもる会は平成16年に発足しました。平成24年には相模原市と里地里山保全等包括協定を締結し、「後世に誇れる里山づくり」を目標に里地里山の保全活動を行っています。

里地里山整備作業

ビオトープの整備、安全柵の設置など散策路や古道の整備、周辺山林の下草刈りを行います。

ホタル等生物の生息環境整備

小松川・穴川の清掃など環境整備をしています。



畑作業

津久井在来大豆、白菜、大根などを栽培しています。



小学校の体験学習と

公民館の里山体験事業への協力

里山散策、川の生き物調査、野菜やコスモスの種まき・収穫、竹ポックリや炭オブジェの作成など年間を通じて近隣小学校に協力しています。また、公民館が親子を対象に行う里山親子チャレンジの事業にも協力しています。



企業のCSR活動の受入れ

平成23年から受入れを開始しました。毎年草の生い茂る5月頃、企業の社員・OBなど約20名が訪れ、会員と共に草刈り作業を行います。

地域のイベントへの参加

城北里山まつり、小松コスモスまつり、城山もみじ祭などの地域のイベントに参加し、農作物の販売やパネル展示を行っています。

